

NO 8
S63, 1月 31日
一発行一
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

記 録

理事長 田中 稔

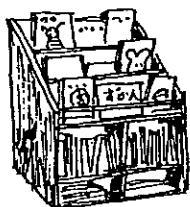
昨年暮れから正月にかけて施設の各種書類、台帳、記録などに一通り眼を通うさせていただきました。短い間に多種多様なものを良く整備していただきました。御苦労のあったことと思います。

しかし、書類のなかには一つ一つは正確に処理されていますが重複している物、全体の流れとして把握しにくいもの等もあるようです。書式、形式など先輩施設の良いいものを参考にさせていただきますながら、もう一工夫も二工夫もして、良いものに育てていきたいものです。入園生、個人個人の記録についても同様に思います。療育については、特に記録者自身が自分で良く見、自分の言葉で書く習慣を

つけたいものです。「誰誰先生の言われた通りだと思えます」というような記録からは生まれてくるものは少ないのではないのでしょうか。自分で見、自分の言葉で記録するためには、自分も勉強していなくてはできません誤字は論外です。こうして残され、積み重ねられたもののなから一人、一人の成長、変化、方針といったものが見えてくることとなります。記録ということは、私達施設の側や指導員の仕事をやりやすくし、間違わないようにすると同時に、この子たちの生き様を生きた証として書き残しておく意味をも持っています。この子たちも人として生きていくことを誰かが残してやらねばと思えます。

良く見、工夫された療育の記録の中から、すばらしい本が出版さ

れました。昭和62年9月、学苑社から石井 聖(いしい ひじり)著「自閉を活かす」二千五百円です。少し高いのですがそれに十分価値する本です。著者は自分で実践し、良く見、考え、工夫し、積み重ねのなかから書いておられます。私も含めて人からの借り物で話す人が多い中で「自分の言葉」で書いておられます。日本に自閉症が紹介され約30年、そして30年かかって漸くこういう本が出るようになった。30年もかかってとも言えます。この間に成長した子供さんは今、多くの人が施設を必要としていません。しかしこういう本がこれからはもっと出てくると思います。そうなれば今から育つ子供さんたちは将来、別の受け皿のなかで生きていくことになるかもしれません。そういう日が来ますように、新年にあたり想いを新たにしております。



療育シリーズ

NO. 8

治療教育(一)

園長 土井尚典

治療教育には感覚統合訓練、ムーブメント教育、だっこ療法等々沢山の訓練や技法があります。

三気の里では、現在特定の技法を用いての療育はなされておられません。しかし乍ら治療教育を目指していることには変わりがありません。そこで本園での治療教育についての基本的な考え方を紹介し、ご意見をお伺いしたいと思います。治療教育の目的は「精神的意欲」を育てることにしています。

「精神的意欲」と言うのは「人に甘えたい」「人に話したい」「指示に従う」「がんばってやる」「まわりに気を配る」「集中してやる」等広範囲の内容を含んでいます。精神的意欲を育てると言うのは、園生一人一人を対象とし、個別に目標をたててなくてはなりません。グループ指導、一斉指導

であっても、あくまでも「個」でなくてはならない訳です。園生の活動には色々な場面があります。

その一つ一つに目標を設定しますと、園生も職員も消化不良をおこします。例えば、たえず叱っているとか、たえず注意をしていることになりがちです。一人一人の園生に対して目標をたてるに当たり、三つの原則をつくっています。

① 園生の特殊な癖や問題行動にとらわれるのでなく、一人の人間として全体でとらえます。園生を部分で見ると欠点が見え、沢山あります。良いところも沢山持っています。全体で見ると良きにつけ悪しきにつけ多くの事実が情報として存在します。沢山の情報をもとに園生像を描き、その園生にとって指導上、今一番大切な事を推定する訳です。

② 指導上一番大切な事(目標)を推定するのは担当だけではなく、全職員、父兄も事実の蒐集に当り必要とあらば医師、言語治療士等多くの人の力を借ります。そして

その園生にとって指導上今一番大切な事を推定する訳です。即ち、できるだけ多くの人の目と智慧を出し合う科学の統合である訳です。

③ 指導上今一番大切な事の推定は目標となります。目標は一度決定すると担当だけが実行するのでなく、その園生にかかわる全ての人が目標を知ってかかわることが重要なことです。

以上述べて来ましたが、特定の理論や特定の技法で園生を指導すると洩れてしまう園生がでてきます。決して洩れることがないように今後も努力して研究していきたいと思えます。

お知らせ

二月十一日もちつきの日がせまってきました。おいしいおいしきねつきもちを作ろうとはりきっています。おもちの大好きな人、力自慢でもちのつける人、この指とまれ。

冬、休み奮闘記

福田 憲子

夏休みから四ヶ月ぶりの長期休暇の始まりです。なまけ者の私は頭の中で暮から正月にかけて、すごい寒波と悪天候が続けばいいなという思いがかすめていました。たぶん、この訳は皆様には分からないと思います。それは寒くて天気が悪ければ憲幸もコタツにもぐって、音無しくしているだろうという、なんとも浅はかな考えなのです。ところが神様は私の愚かな考えを見抜かれたらしく、毎日々々春を思わせるようなポカポカ陽気、憲幸もコタツ等見向きもせず買物へ、台所へと大奮闘です。

それではと私も腹をきめて付き合う事にしました。

そこで昨年五月の入園以来、私の方で自信がなくなり、やめていた事を少しづつやってみようという事で、まずバスでデパートへ行っ

出かける前に、バスやデパートの中では静かにして私の指示に従うように何度も言い聞かせ（家では手を叩き声を出して走り回っています）八ヶ月ぶりに出かけました。途中何度か手を叩いては、私の方を見て、自分の口に指をあてシーとゆう動作をし、私がかうなずくと安心するという場面がありました。がまずは何事もなく食事をし好きなお菓子やパンを買いデパートを一巡して上機嫌で帰宅しました。

そこで「今日はおრიこうだったね楽しかったね」と大いに持ち上げ「こんどは歯医者さんへ行つて治療ができたら又デパートへ行こう」と持ち掛けてみたのですが、歯医者さんはバツ、デパートはオツケーのサイン、何度くり返しても同じ答えです。それでも二日後に強行しました。病院の前で多少の抵抗はありましたが「歯の治療をしないなら、デパートも行かない」の一喝で無事治療も済ませる事ができました。もちろん帰りはデパートへ直行しレストランでは私の

分までたいらげ、まずは満足といったところでした。

今回は憲幸の気持ちも考え良い方の話だけにしておきました。



松枝 英子

早いもので息子の三歳の里での生活も半年が過ぎました。

夏休みは出身校の熊本養護学校のプールを使わせていただき、大好きな水遊びで楽しい時間を過ごすことができましたが、冬休みは年末年始と重なり家の中の生活が多くなるので、どんなものかと少し不安になりました。

毎週々末は帰宅をしておりますので生活面での心配はありませんでしたが、今彼は大変チリにこだわっていますので、少しでも正しくこだわって欲しいと、ゴミ箱の位置を替え、なるだけゴミ箱が目につかないようにと気を配ってみ

(6頁に続く)

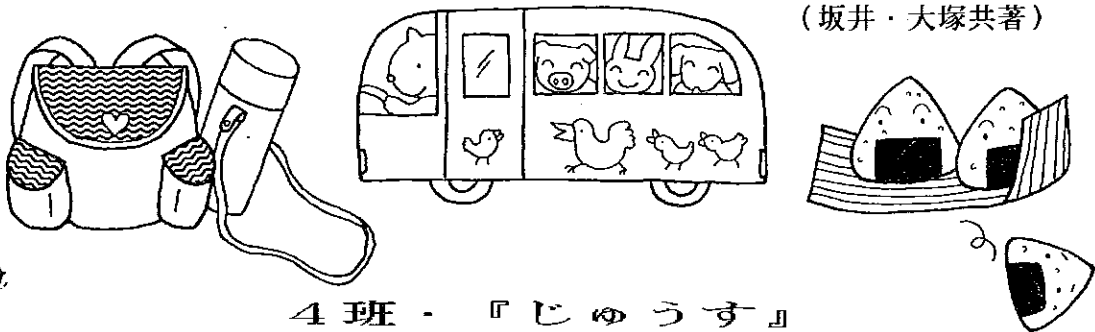
3班・黒川温泉、湯治の旅

そう、日頃の作業の疲れを癒すべく、我々3班は、4班と一緒に、黒川温泉へ湯治に出かけました。着いた旅館は、な、なんと玄関が4Fにあるという大きな（三気の里3倍はある）ホテルで、案内された部屋も広い広い大広間。早速、探険家陽ちゃんがトイレを探しに巡ります。昼食を終え、大浴場へ“イザ！出陣”嵐の前の静けさとはこのことで、山の中の静かで広い温泉は、ところせましとはしゃぎまわる新ちゃん、鯨の様にお湯を吹き上げながら泳ぐ啓三くん等で大盛況。興味津々、陽ちゃん、敬ちゃんは“早く上がれ！”の催促も受けず、ゆっくり露天風呂でくつろぎます。マイペースの健ちゃんはお風呂の真ん中に立ちん棒。広いお風呂にたった7人女性陣、泳ぎ回る職員と、美容に好いのかお湯を飲んだり、歩きまわったりしました。ニューフェースの由美ちゃんは、ほてる頬をおさえながらおしとやかにくつろぎます。（男達は、女性陣の長湯にあきれた顔で待っていました）

お風呂あがりのくつろぎタイム。のりちゃんの希望もあって、売店でおやつ
の買い物、一日上機嫌でした。皆元気になったかな…

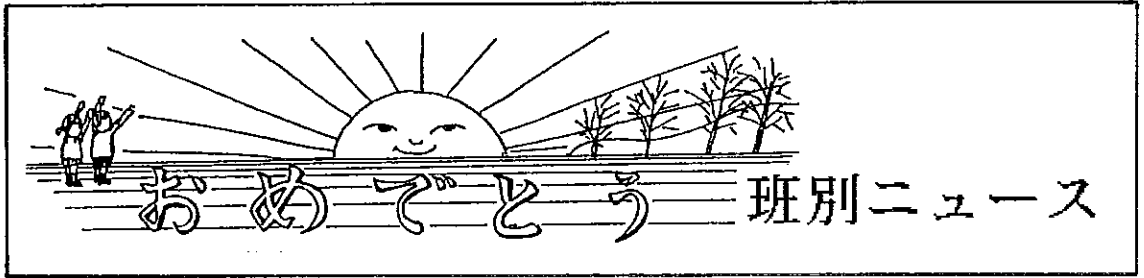
帰りのバスの中、“僕は運転手、君は眠りに就く人ぞ…” ああ無情

（坂井・大塚共著）



4班・『じゅうす』

夏の暑い中、皆でトウモロコシの収穫に頑張りがたまったお金で、3時間の石運びで精魂疲れはてた4班の仲間は、何を思ったのか1人100円持ってジュースを買いに行こうというアイデアを誰とは言いませんが思いつきました。その事をみんなに話すと片付けのいつもと違ってはやい事、はやい事。顔つきも一変してニコニコ顔になりお店に向かってLet's GO! 額に汗しながら歩きお店に着き自動販売機の前に立つと“HOT”ア然となりお店に入るとICEがありやっと一安心。皆思い思いに好きなジュースを選びました。ただ1人新聞を持っていた和久kun、「コーラにするー」「レモンにするー」と選びまくったのはマーchan、疲れた体を癒す為オロナミンCを買ったのは文chan、いつも大好きなコーラを買ったのは勝chan、汗して働き冷たい物をとっていたのにHOTを買ったのはヤッchan、のりkun、ただchan、一瞬にして大好きなジュースは飲みほし皆満足でした。疲れもどこかえとんでいき元気一杯になった4班の仲間と職員でありました。（池上）



1 班 - 一年の計はレクにあり

今年初めての1班レクを14日の日に行いました。天気も晴天に恵まれ、気温も穏やかで最高の一日を迎えられました。計画としては阿蘇神社にみんなで新年の初詣をし、大観峰に行き去年より今日の為に製作していた凧を大空に上げるという日程でした。

阿蘇神社に到着すると、突然電話BOXに入り電話するのかなと思わせた潔君、嬉しさのあまり境内を走り回っているのかなと思えば釘づけになったかの様に動かなくなる武ちゃん、毎度の事ながら探索に余念がないみっちゃん、ストライキをおこした様に座りこんでしまった信ちゃん、何をお願いしたのかニコニコしながら参拝した由美ちゃん、おみくじも引きそれぞれ大当たりだったのでしょ。第二の目的地大観峰では去年より製作中だった凧上げの本番でした。一人一人が凧が上がるのを期待し、楽しみにしていた通りいくつか上がり感動、ホッと一息、指導員が楽しみ喜んでいる姿が目立ったのは異常でしょうか、それぞれの思いをのせて飛んでくれたと思ったのはみんな一緒かな。(田之上)

2 班 - みんな今年も頑張ろうね

楽しい冬季帰宅訓練が“あっ”という間に終わり、2班のみんながぞくぞくと三気の里に帰ってきます。なんだかみんなちょっぴりおデブになったんじゃない？(という私も太ってしまいました)さあー、お家で思いっきり羽をのばして楽しんだ後は、気合いを入れて『今年も頑張ろうね』まずはお風呂そうじから始めましょう。久しぶりにお風呂そうじに取りくんだためかな? なんだかみんなすごいはりきりようです。お風呂の隅々まで泡だらけにして頑張っています。泡のついていないところを見つけると飛んで行ってゴシゴシ磨いてもくれます。三気の里のみんなが気持ち良くお風呂に入れる様にシッカリ頑張ろう。それから、にわとりさんがふえました。黒いチャボが8羽、あわせて16羽です。えさの量も多くなって、えさをやる人、残菜を片付ける人、葉っぱをとってきて刻んでやる人、水をかえる人にそれぞれ仕事を分担して世話をします。早く卵を生んでくれるのを楽しみに、早くにわとりさんと仲良くなって毎日欠かさずお世話していこうね。(高橋)

ました。しかし何の効果もなく以前にも増して、ゴミ箱の前に座っては大きなものは小さくなるまでやぶっていました。他に好きな水の使える台所の手伝いや洗濯の手伝いも計画しましたが、ほんの少しでやめてしまい、チリ取りとホーキに手がのびていました。本当でしたら暮の大掃除で大変助かるのですが彼の場合は少しちがっているのです。でもそのうちにこんなにならざるのですからきつとプロ顔負けの掃除屋さんになってくれるかも知れないと夢みているおめでたい母親なのです。どうぞ本年もよろしくお願い致します。

「ハッピー」

「クリスマスマス」

三気の里で迎える初めてのクリスマス、園生達も楽しみにして居るだろうなあ、何かよいアイデアはと考えているのをよそに園生達の中には、クリスマスはと催促するなどであせってしまいましたが、

当日はみんなの協力の元にクリスマスパーティーの開催となり、ボランティアさんも含め全職員、園生と共に気分を盛り上げる為のディスクに酔いしれ、レッツダンス若さと熱気でムンムンさわやかな汗をかいた後食堂に移り、パーティー本番、手作りケーキを前に逸る気持ちを押さえながら、三気の里の妖精二人、由美ちゃん、民ちゃんのキャンドルサービスを待ち、クリスマススの歌を歌いよいよよけーキカット、目の輝きが増す顔、職員の顔もけっして例外ではなかった様です。乾杯の為全員総立ち、乾杯の掛け声と同時にヤツタネとばかりにケーキをほおぼり、まるで早食い競争かの様にも見え嬉しくなりました。しばらくしてサンタクロースとその他一名入場でパーティーの会場は大爆笑、サンタクロースは事務長で、その他一名にはたぬきの服を着た園長がプレゼントを持って登場したのでした。会はピークを迎え、園生達も食べるのを一休み、プレゼントを受け

取りプレゼント交換、何をもらったのかな退場する顔はさまざま、「サンタさん又来てください」園生一同。

(田之上)

ただ今

食良堂営業中

「クリスマス奮戦記」

十二月二十四日午後五時、直径二十六センチの大きなクリスマスケーキ八個が出き上がった。ここまでのどり着くには大変な苦労があった。「クリスマスケーキは手作りです」という強い要望を受けたのが間違いのもとで、いやいやここが腕の見せどころと大塚が言い、ここからが苦勞の始まりである。オーブンがないために厨房四人でスポンジケーキを二個ずつ作って来ることになった。二日前、各自我家で試し焼き、他かの三人に負けてなるものかと帆保が奮戦。前日よいよ本番、これでよしよしとうでを組む興呂木。そして当

日、持ち寄ったスポンジに飾り付け。ここで登場したのが岩本と園生の福田くん、生クリーム作りでホイップホイップ。そのかいあって出来上がったケーキは、皆をうならせた。

“厨房のおねいさんありがとう”
園生・職員一同？メリークリスマス

七草粥

あけましておめでとうございませす。今日は一月二日、三気の里の七草がゆ大会、参加者は、かずあき君とかずあき君のお父さんとおば様お二人、しゅんちゃんのお父さんに、指導員と厨房さん、小人数でしたがとても楽しかったんですよ。

オリエンテーションで、せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ、春の七草の勉強をし、いざ出発！
雨の中カサをさして皆で協力しがんばりました。説明は聞いてはいたもののわからず、「お父さん、

これですかね？」の質問のしどろしどろ、お父さんはあきれて、子供にうそをおしえんで下さいよーとくぎをさされる指導員がいたり（実は私なのですがエヘ）爆笑の七草狩りでした。後で厨房のお姉さんが作ってくれた七草がゆの味は最高でした。（波多野）

追伸

突然の訪問者！

おしゃれなジャケット、白シャツ、チノパンをはいてばっちりきめて現れたのは重ちゃんである。しっかり新年の挨拶もし、あつという間に食堂に登場、喝采をあげたのは言うまでもありません。次に現れたのは、新ちゃんである。豪華なおせち料理に飽きたのか、カップラーメンを片手に登場。しかし、残念なことに車から降りず我々を眺めていました。
突然の二人の訪問はみんなを喜ばせてくれました。

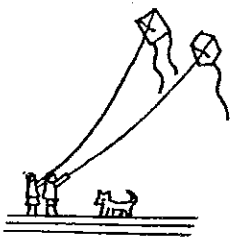
（山中）

僕も私も一二十歳
大人の仲間入り

三気の里にも、今年成人式を迎えた友達がたくさんいます。その中で安部くん、林くんは大津町民センターで行われた成人式に参加しました。当日は小雨でしたがその雨もびっくりするほどあてやかな着物が勢ぞろいし、安部くんも林くんも緊張したのではないのかな？広いホールでたくさんの人と席を並べ、いろんなお話や誓いの言葉を聞きました。

二人の他かにも、竹下さん、坂本さん、渡辺くん、松枝くん、中村くんがそれぞれの家庭で、町で成人式を迎えました。

おめでとう。（これからは、お酒だって飲めるんだぞ）（小道）



「さあ、

火を入れよう」

はじめてのどんどや。大きな炎にのみこまれそう…と思っていたら、みんな自由に走りまわったり泥んこ遊びをしたり。

「さあ、おだんごができたよ」

この声には反応が早い、竹につけたおだんごを小さくなってきた火であぶるとこんがりこげめがついていいにおいがしてきた。さあ食べよう、これで今年一年、みんな元気で過ごせるゾー！
(平川)

ちよと氣になる

栄養の話

「献立の基本」

ご家庭の健康づくりは、よい献立づくりからです。

1 バランスがとれていますか？好きなものばかり食べていませんか、お肉料理では、お肉ばかり食べず野菜もたっぷり食べてください。

2 期待感があること。まず食べておいしいものでなければなりません。

ん。その意味から今日はどんな料理だろうか、という期待感をもたせることが大切。例えば、コロケケといっても、今日はどんなコロケかな？といった楽しみがあるような献立を！

3 季節の物を活かそう。最近ハウス栽培や養殖の魚等の普及などで季節感がなくなりつつあります。「旬のもの」を上手においしく料理して下さい。

4 経済的であること。食費は家計の中で大変大きな割合を占めます。高い物がおいしく栄養があるとは限りません。反対に、安くても栄養価が高く、おいしいものがたくさんあります。

以上の4つが、よい献立の条件です。私達もまだまだ見直すべきところがあります。それぞれのご家庭でも、この4つの条件を心がけて献立づくりをして下さい。
(興呂木)

2月行事予定表

2月3日(水)	節分会・体重測定
4日(木)	3班・レクリエーション 動作訓練研究会・午後7時～
11日(木)	建国記念日・もちつき大会
13日(土)	保護者会・帰宅訓練日 職員会議 ボランティア学習会
15日(月)	2月の誕生会 防災避難訓練
18日(木)	2・4班・レクリエーション
25日(木)	1班・レクリエーション 動作訓練研究会・午後7時～
26日(金)	大掃除

編集後記

8号編集会議は、夜9時ディレクターの私の勤務が終ってから始めました。が勤務を終え記録を書いている指導員の間にマスターキーがなくなったという話題が上がり編集会議中断。お風呂のスイッチつけるにも、園内の鍵をかけるにも大切なキーなのです。でも、いつも誰かがポケットに入れ忘れてるのです。今回はY指導員でした。おかげで編集会議も時間がかかりそうです。(波多野)